

3 現在の、裾野の取り組みについて

問3 市では次のような取り組みを行っています。それぞれの項目について、あなたはどの程度満足していますか。また、その取り組みは重要であると思いますか。(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つつ)

ここで挙げる項目は、第3次裾野市総合計画後期計画(期間:平成17年度から平成22年度)に定められた施策と対応します。

(下表参照)

①みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)

施 策		設 問 項 目	
1-1-1	健康づくりの推進	1	心身ともに健康で充実した生活を送る
1-1-2	保健・医療・福祉の連携	2	必要な時に適切な医療が受けられる
1-1-3	市民スポーツ・レクリエーションの推進	3	スポーツを習慣にした生活を送る
1-2-1	高齢者が生き生きできる福祉の推進	4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
1-2-2	ハンディキャップを克服できる福祉の推進	5	障害のある人の社会参加と自立
1-2-3 1-2-4	自立できる生活の充実 ボランティアで支える地域福祉の推進	6	地域住民が共に支えあって暮らす
1-2-5	子育て環境の充実	7	安心して子育てと就労が両立できる
1-3-1	人間性豊かな子どもを育てる教育の充実	8	人間性豊かな子どもを育てる教育
1-4-1 1-5-1	自ら学ぶ環境の充実 富士山を象徴とする文化の育成	9	生涯学習や文化活動の機会や場所
1-4-2	次世代を担う青少年の育成	10	次世代を担う健全な青少年を育てる
1-6-1	コミュニティ活動の充実	11	地域コミュニティ活動の活発化

②人と自然が調和した環境快適都市(自然・環境・都市基盤・安全分野)

施 策		設 問 項 目	
2-1-1	美しいまち景観の創出	12	恵まれた自然景観の活用
2-1-2	きれいな環境の維持・創出	13	ごみ不法投棄や公害への対策
2-1-3	リサイクルの推進	14	リサイクル活動
2-2-1 2-2-2	緑豊かな環境の充実 公園・広場の充実	15	身近な緑の環境
2-3-1	水に親しむ空間の充実	16	きれいな川を守り、水に親しむ
2-3-2	山や川の災害を防ぐ	17	山や川の災害を防ぐ
2-4-1 2-4-2	安全な水の確保と水資源の有効活用 きれいな水の流れる環境の創出	18	上・下水道事業

施 策		設 問 項 目	
2-5-1	裾野駅周辺の市街地整備の推進	19	裾野の顔となる拠点市街地の整備
2-5-2	周辺部の拠点整備の推進		
2-6-1	住みよい住環境の充実	20	誰もが住みやすい住環境の整備
2-6-2	バランスのとれた土地利用配置	21	適切な土地利用がされている
2-7-1	便利で快適な道路網の充実	22	道路網の便利さ、快適さ
2-7-2	生活に便利な交通機関の充実	23	鉄道・バスの便利さ
2-8-1	地震災害対策の充実	24	地震災害対策
2-8-2	消防・救急体制の強化	25	消防・救急体制
2-8-3	犯罪からまちを守る対策の充実	26	犯罪からまちを守る
2-8-4	安全な交通環境の充実	27	交通安全対策
2-8-5	安全で豊かな消費生活の確保	28	安全で豊かな消費生活

③新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

施 策		設 問 項 目	
3-1-1	農業維持の体制づくり	29	農林業の活性化
3-1-2	林業の振興の充実		
3-2-1	緑豊かな工業地の確保	30	先進企業を核とした地場産業の活性化
3-2-2	先進企業の誘致と地場産業の育成		
3-3-1	にぎわいのある商業地の整備	31	にぎわいのある商業地づくり
3-3-2	創意と工夫による商業の振興		
3-4-1	新たな観光の創出	32	新たな観光地づくり
3-4-2	観光による地域の活性化		
3-5-1	裾野の魅力のPR	33	裾野市の全国に向けたアピール
3-5-2	時代に対応した情報の発信	34	時代に対応した情報の発信

④頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

施 策		設 問 項 目	
4-1-1	市民の協働を目指した市民参加の推進	35	市民と行政の協働によるまちづくり
4-1-2	男女共同参画社会の推進	36	男女共同参画社会
4-1-3	透明性の高い行政運営の実現	37	市民のための行政サービス
4-1-4	開かれた議会活動の支援		
4-2-1	有効で効率的な行政運営確立		
4-2-3	活力ある組織人事の推進		
4-2-4	広域行政における連携の強化		
4-2-2	健全な財政運営の確保	38	健全な財政運営

(1) 現状の評価と今後の重要度

現状の評価と今後の重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

現状の評価基準

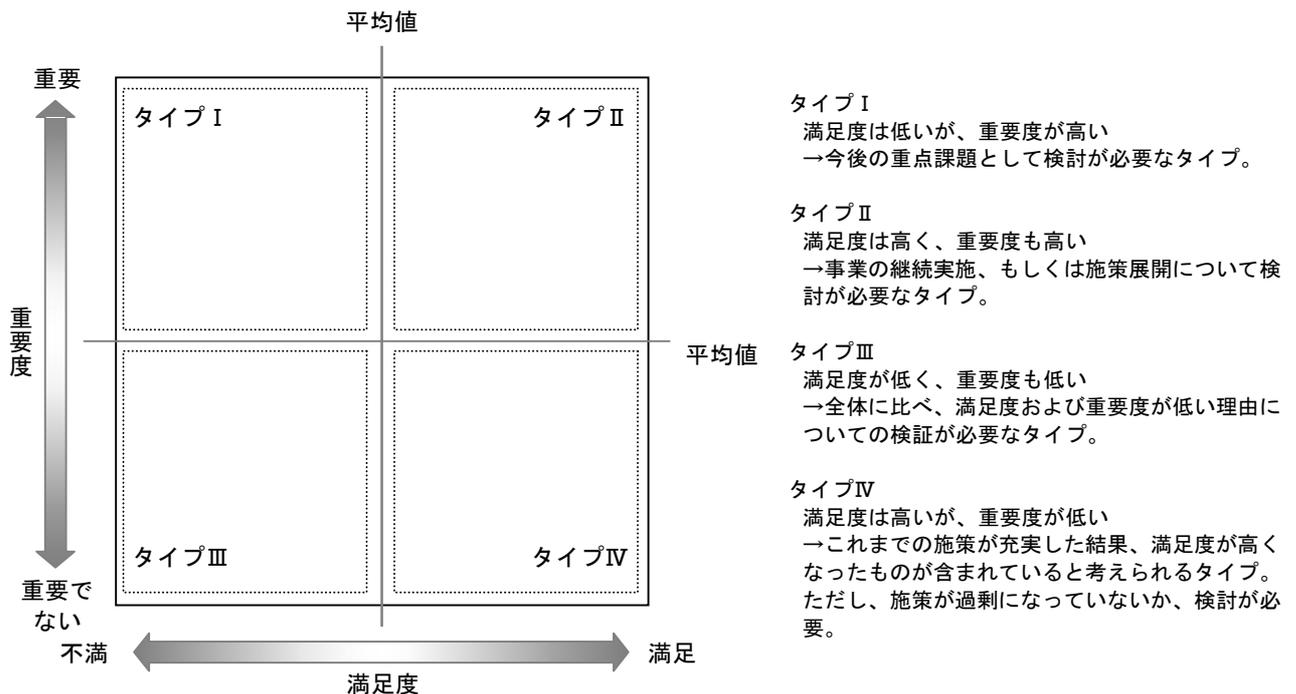
項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

【ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価】

各項目の満足度と重要度のポイントの関係について、下図のとおり分布図を作成し、今後の施策の方向性を分析しました。



※ポートフォリオとは、各属性について、Y軸に満足度、X軸に重要度として、その相関関係を表しています。なお、図は4象限に分けられ、象限をわける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

算出された満足度・重要度得点をもとに、各事業の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

その結果、『2 必要な時に適切な医療が受けられる』『25 消防・救急体制』については、満足度・重要度ともに上位3位以内に順位付けられています。

また、満足度の最下位は『23 鉄道・バスの便利さ』、重要度の最下位は『32 新たな観光地づくり』となっています。

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいのは、『25 鉄道・バスの便利さ』『31 にぎわいのある商業地づくり』『22 道路網の便利さ、快適さ』となっています。

■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度		順位	重要度	
事業名	得点		得点	事業名
2 必要な時に適切な医療が受けられる	0.56	第1位	1.70	2 必要な時に適切な医療が受けられる
1 心身ともに健康で充実した生活を送る	0.56			
15 身近な緑の環境	0.56			
25 消防・救急体制	0.44	第2位	1.55	25 消防・救急体制
14 リサイクル活動	0.43	第3位	1.51	26 犯罪からまちを守る
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備	-0.53	第36位	0.81	3 スポーツを習慣にした生活を送る
31 にぎわいのある商業地づくり	-0.62	第37位	0.77	33 裾野市の全国に向けたアピール
23 鉄道・バスの便利さ	-0.80	最下位	0.76	32 新たな観光地づくり

■満足度と重要度の差■

順位	事業名	満足度	重要度	点数差 (満足度－重要度)
第1位	23 鉄道・バスの便利さ	-0.80	1.21	-2.01
第2位	31 にぎわいのある商業地づくり	-0.62	1.07	-1.69
第3位	22 道路網の便利さ、快適さ	-0.37	1.24	-1.61

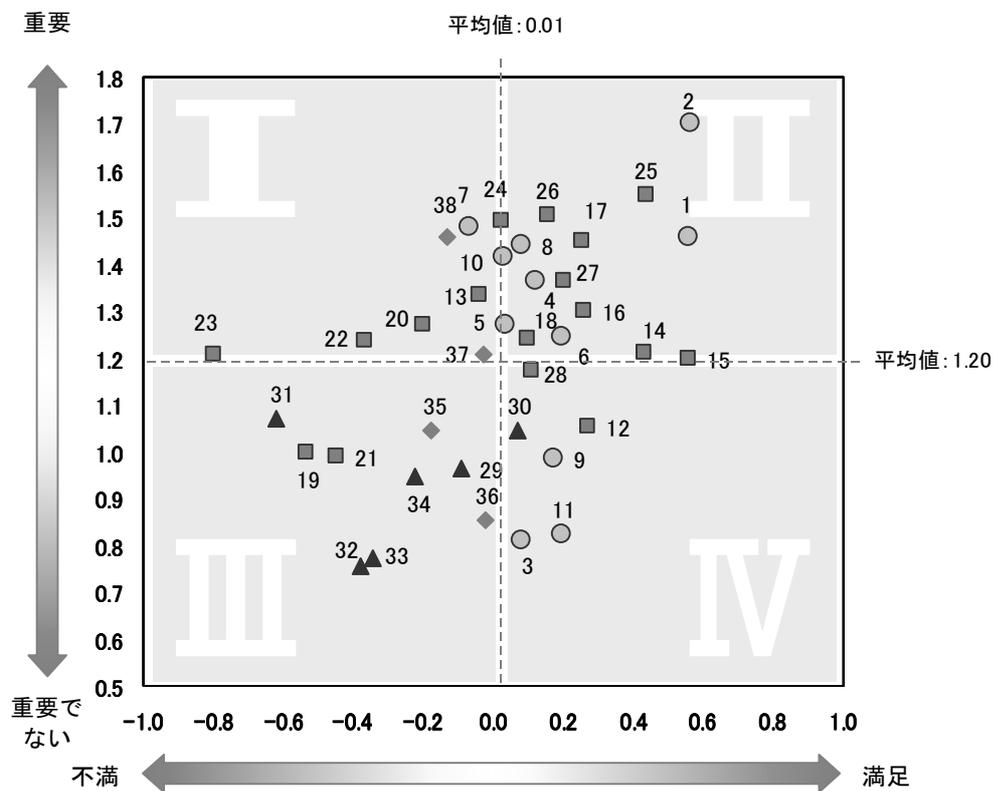
※点数差＝満足度－重要度：満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化しました。

(2) ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価

健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野がタイプⅠ、タイプⅡに分布
 地域産業分野がタイプⅢに分布

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野の取り組みは重要度が高い傾向にあり、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、全体に比べ満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

また、地域産業分野の取り組みは、満足度、重要度ともに低い傾向にあり、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



- みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）
- 人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）
- ▲ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）
- ◆ 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

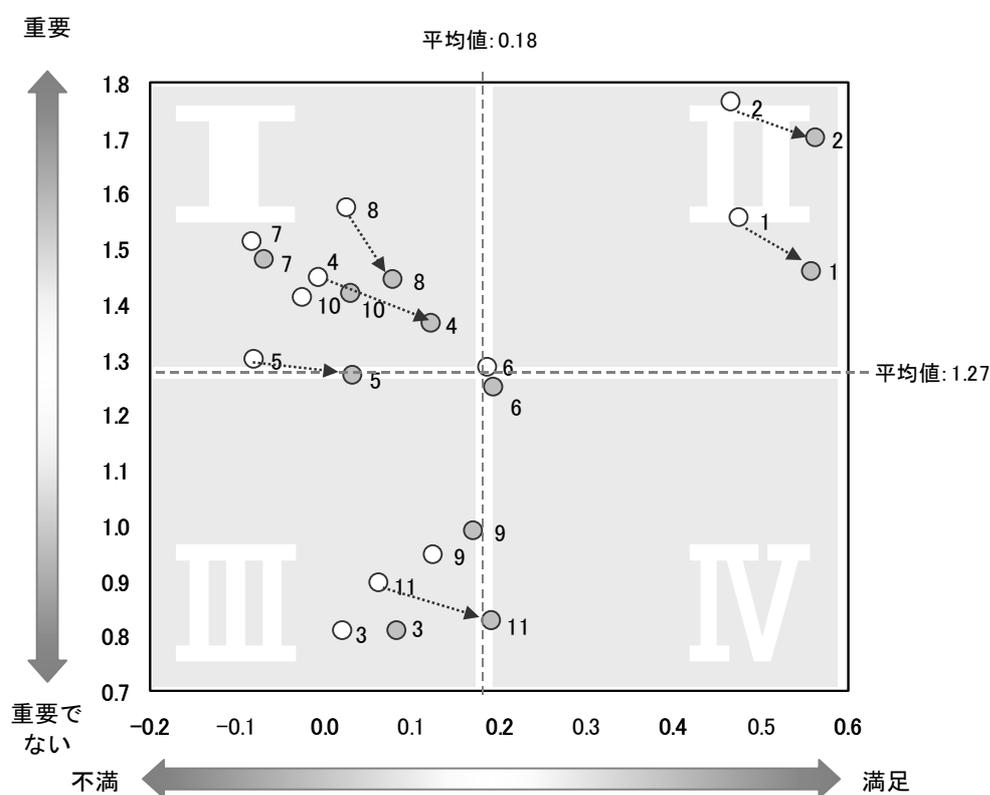
タイプⅠ	タイプⅡ
<ul style="list-style-type: none"> ○ 7 安心して子育てと就労が両立できる ○ 13 ごみ不法投棄や公害への対策 ■ 20 誰もが住みやすい住環境の整備 ■ 22 道路網の便利さ、快適さ ■ 23 鉄道・バスの便利さ ■ 37 市民のための行政サービス ◆ 38 健全な財政運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 心身ともに健康で充実した生活を送る ○ 2 必要な時に適切な医療が受けられる ○ 4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす ○ 5 障害のある人の社会参加と自立 ○ 6 地域住民が共に支えあって暮らす ○ 8 人間性豊かな子どもを育てる教育 ○ 10 次世代を担う健全な青少年を育てる ○ 14 リサイクル活動 ■ 15 身近な緑の環境 ■ 16 きれいな川を守り、水に親しむ ■ 17 山や川の災害を防ぐ ■ 18 上・下水道事業 ■ 24 地震災害対策 ■ 25 消防・救急体制 ■ 26 犯罪からまちを守る ■ 27 交通安全対策
タイプⅢ	タイプⅣ
<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 裾野の顔となる拠点市街地の整備 ■ 21 適切な土地利用がされている ▲ 29 農林業の活性化 ▲ 31 にぎわいのある商業地づくり ▲ 32 新たな観光地づくり ▲ 33 裾野市の全国に向けたアピール ▲ 34 時代に対応した情報の発信 ◆ 35 市民と行政の協働によるまちづくり ◆ 36 男女共同参画社会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 スポーツを習慣にした生活を送る ○ 9 生涯学習や文化活動の機会や場所 ○ 11 地域コミュニティ活動の活発化 ■ 12 恵まれた自然景観の活用 ■ 15 身近な緑の環境（再掲） ■ 28 安全で豊かな消費生活 ▲ 30 先進企業を核とした地場産業の活性化

①みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）
 ア ポートフォリオによる分析

主に満足度は低いが、重要度が高いタイプ に分布

健康・福祉・教育分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』『7 安心して子育てと就労が両立できる』『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』『10 次世代を担う健全な青少年を育てる』は今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

また、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『5 障害のある人の社会参加と自立』『9 生涯学習や文化活動の機会や場所』は全体に比べ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



● 平成 22 年度調査

○ 平成 21 年度調査

タイプⅠ	タイプⅡ
4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす	1 心身ともに健康で充実した生活を送る
7 安心して子育てと就労が両立できる	2 必要な時に適切な医療が受けられる
5 障害のある人の社会参加と自立	
8 人間性豊かな子どもを育てる教育	
10 次世代を担う健全な青少年を育てる	
タイプⅢ	タイプⅣ
3 スポーツを習慣にした生活を送る	6 地域住民が共に支えあって暮らす
5 障害のある人の社会参加と自立(再掲)	11 地域コミュニティ活動の活発化
9 生涯学習や文化活動の機会や場所	

※平均値は平成 22 年度調査の数値です。

イ 満足度と重要度の経年変化

『7 安心して子育てと就労が両立できる』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『7 安心して子育てと就労が両立できる』となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』『5 障害のある人の社会参加と自立』『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』『9 生涯学習や文化活動の機会や場所』『10 次世代を担う健全な青少年を育てる』『11 地域コミュニティ活動の活発化』については、満足度が高くなっている傾向がみられます。

また、『7 安心して子育てと就労が両立できる』については、重要度が高くなっている傾向がみられますが、『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』については、重要度が低くなっている傾向がみられます。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
1 心身ともに健康で充実した生活を送る	満足度	0.36	0.43	0.53	0.48	0.56
	重要度	1.41	1.54	1.55	1.56	1.46
2 必要な時に適切な医療が受けられる	満足度	0.35	0.51	0.50	0.47	0.56
	重要度	1.63	1.73	1.78	1.76	1.70
3 スポーツを習慣にした生活を送る	満足度	-0.10	-0.05	0.00	0.02	0.08
	重要度	0.79	0.85	0.80	0.81	0.81
4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす	満足度	0.03	0.09	0.02	-0.01	0.12
	重要度	1.36	1.43	1.41	1.45	1.36
5 障害のある人の社会参加と自立	満足度	-0.17	-0.11	-0.11	-0.08	0.03
	重要度	1.27	1.30	1.29	1.30	1.27
6 地域住民が共に支えあって暮ら	満足度	0.10	0.18	0.19	0.19	0.19
	重要度	1.24	1.32	1.26	1.28	1.25
7 安心して子育てと就労が両立できる	満足度	-0.24	-0.06	0.05	-0.08	-0.07
	重要度	1.42	1.42	1.49	1.51	1.48
8 人間性豊かな子どもを育てる教育	満足度	-0.17	-0.02	0.06	0.03	0.08
	重要度	1.57	1.57	1.59	1.57	1.44
9 生涯学習や文化活動の機会や場所	満足度	-0.13	0.02	0.13	0.12	0.17
	重要度	0.95	1.01	0.96	0.95	0.99
10 次世代を担う健全な青少年を育てる	満足度	-0.23	-0.11	-0.03	-0.03	0.03
	重要度	1.44	1.45	1.43	1.41	1.42
11 地域コミュニティ活動の活発化	満足度	-0.04	0.04	0.10	0.06	0.19
	重要度	0.88	0.94	0.90	0.89	0.83

ウ 取り組み別満足度と重要度

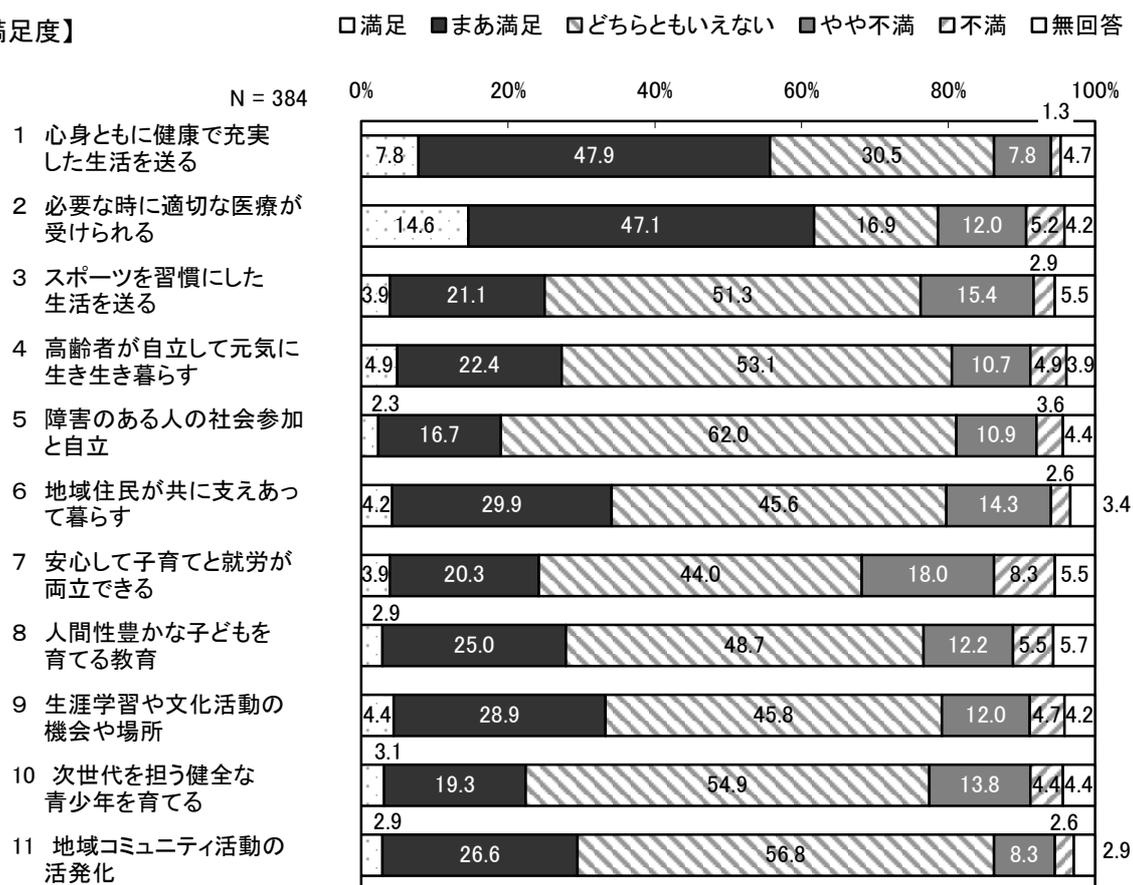
5割以上が『1 心身ともに健康で充実した生活を送る』『2 必要な時に適切な医療が受けられる』ことに満足している

『2 必要な時に適切な医療が受けられる』ことについて、「とても重要」の割合が7割以上

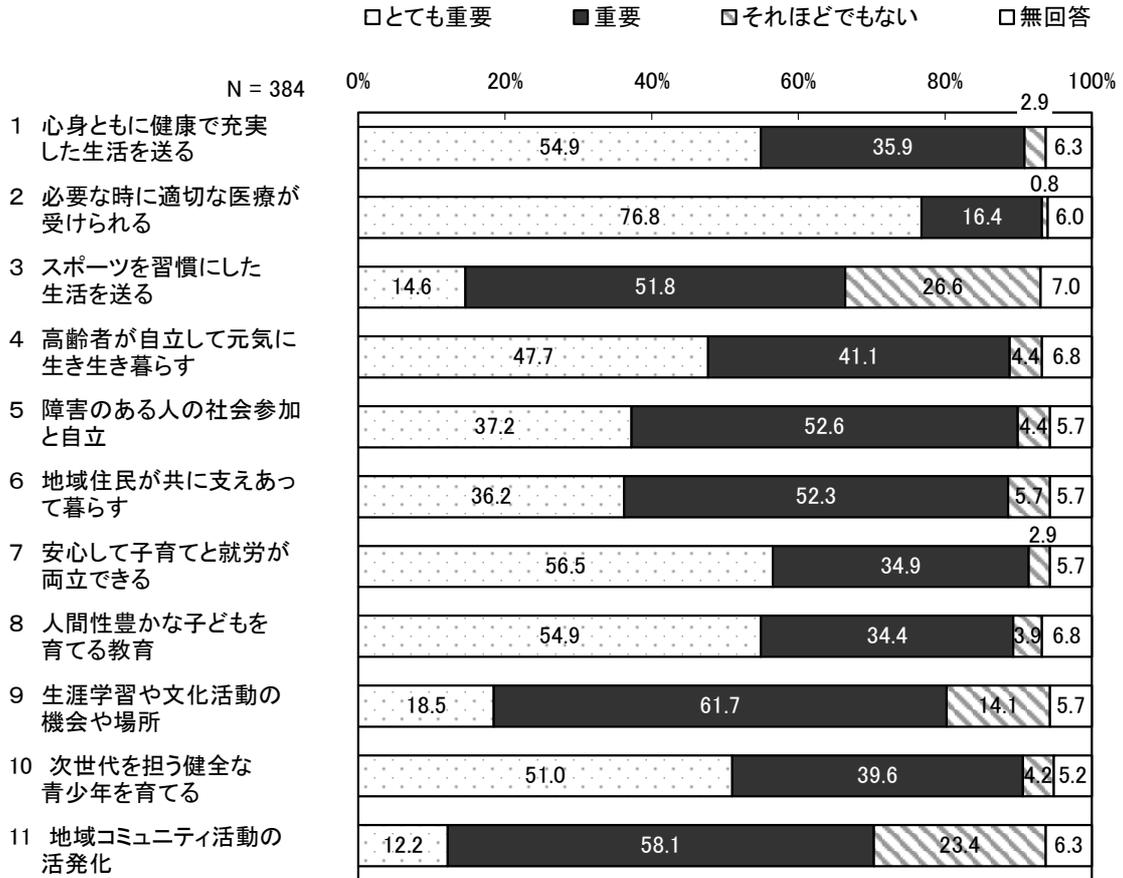
満足度については、『1 心身ともに健康で充実した生活を送る』『2 必要な時に適切な医療が受けられる』で、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、5割以上となっています。

重要度については、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『11 地域コミュニティ活動の活発化』を除いた項目で、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に『2 必要な時に適切な医療が受けられる』では、「とても重要」の割合が7割以上と高くなっています。

【満足度】



【重要度】



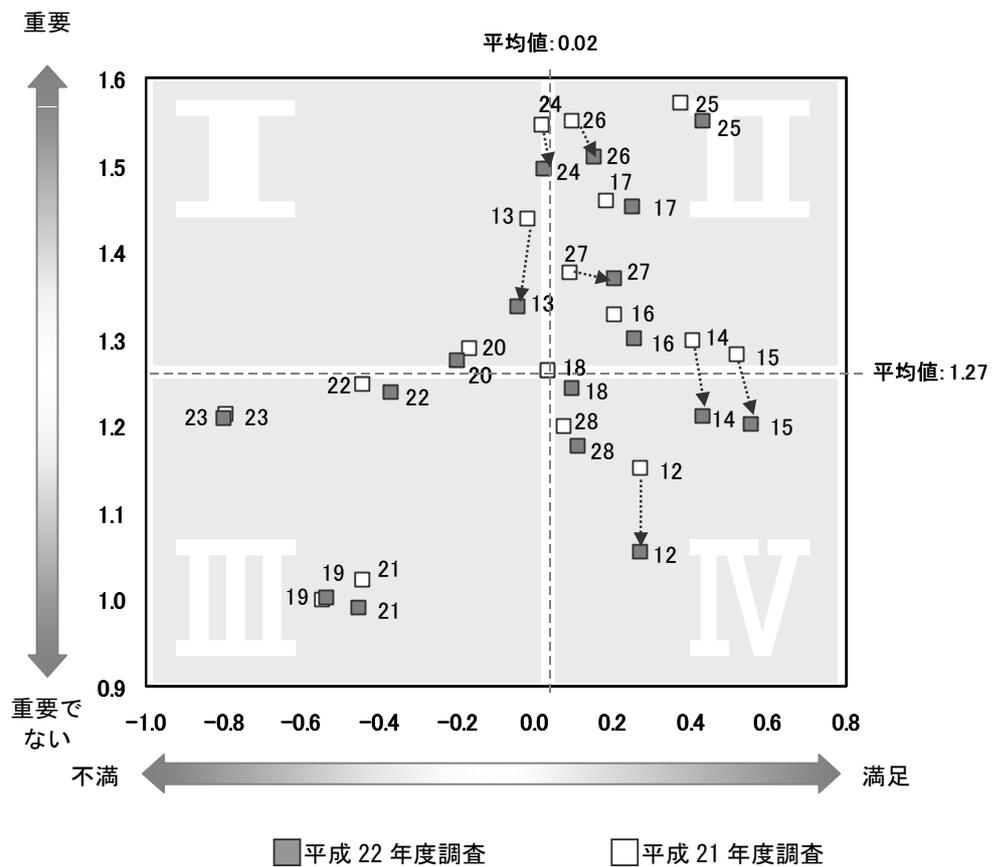
②人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

ア ポートフォリオによる分析

主に満足度は高く、重要度も高いタイプⅠ、満足度は高いが、重要度が低いタイプⅡに分布

自然・環境・都市基盤・安全分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『16 きれいな川を守り、水に親しむ』『17 山や川の災害を防ぐ』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』『27 交通安全対策』は全体に比べ、満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『12 恵まれた自然景観の活用』『14 リサイクル活動』『15 身近な緑の環境』『18 上・下水道事業』『28 安全で豊かな消費生活』はこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないか、検討が必要なタイプⅣに分布しています。



※平均値は平成22年度調査の数値です。

タイプⅠ	タイプⅡ
13 ごみ不法投棄や公害への対策 20 誰もが住みやすい住環境の整備 24 地震災害対策	16 きれいな川を守り、水に親しむ 17 山や川の災害を防ぐ 25 消防・救急体制 26 犯罪からまちを守る 27 交通安全対策
タイプⅢ	タイプⅣ
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備 21 適切な土地利用がされている 22 道路網の便利さ、快適さ 23 鉄道・バスの便利さ	12 恵まれた自然景観の活用 14 リサイクル活動 15 身近な緑の環境 18 上・下水道事業 28 安全で豊かな消費生活

イ 満足度と重要度の経年変化

『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』『23 鉄道・バスの便利さ』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』『23 鉄道・バスの便利さ』で、1.5ポイント以上の差となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『12 恵まれた自然景観の活用』『14 リサイクル活動』『15 身近な緑の環境』『16 きれいな川を守り、水に親しむ』『17 山や川の災害を防ぐ』『18 上・下水道事業』『24 地震災害対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』『27 交通安全対策』『28 安全で豊かな消費生活』については、満足度が高くなっている傾向がみられます。一方、『13 ごみ不法投棄や公害への対策』『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』については、満足度が1点未満ですが、状況が改善されつつあることがうかがえます。

また、『13 ごみ不法投棄や公害への対策』については、重要度が低くなっており、平成18年度から0.14ポイント減少しています。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
12 恵まれた自然景観 の活用	満足度	0.09	0.15	0.17	0.27	0.27
	重要度	1.11	1.12	1.09	1.15	1.05
13 ごみ不法投棄や公 害への対策	満足度	-0.34	-0.31	-0.19	-0.02	-0.04
	重要度	1.48	1.52	1.46	1.44	1.34
14 リサイクル活動	満足度	0.37	0.29	0.32	0.41	0.43
	重要度	1.30	1.31	1.30	1.30	1.21
15 身近な緑の環境	満足度	0.41	0.40	0.45	0.52	0.56
	重要度	1.26	1.32	1.26	1.28	1.20
16 きれいな川を守り、 水に親しむ	満足度	0.04	0.03	0.08	0.20	0.26
	重要度	1.32	1.36	1.32	1.33	1.30
17 山や川の災害を防 ぐ	満足度	0.10	-0.04	0.08	0.18	0.25
	重要度	1.43	1.53	1.47	1.46	1.45
18 上・下水道事業	満足度	-0.07	0.01	-0.05	0.04	0.10
	重要度	1.26	1.35	1.29	1.26	1.24
19 裾野の顔となる拠 点市街地の整備	満足度	-0.63	-0.56	-0.61	-0.54	-0.53
	重要度	1.01	1.10	1.09	1.00	1.00

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
20 誰もが住みやすい 住環境の整備	満足度	-0.31	-0.19	-0.24	-0.16	-0.20
	重要度	1.26	1.31	1.32	1.29	1.27
21 適切な土地利用が されている	満足度	-0.58	-0.50	-0.54	-0.44	-0.45
	重要度	1.03	1.04	1.05	1.02	0.99
22 道路網の便利さ、快 適さ	満足度	-0.61	-0.55	-0.54	-0.44	-0.37
	重要度	1.22	1.27	1.28	1.25	1.24
23 鉄道・バスの便利さ	満足度	-0.85	-0.74	-0.81	-0.79	-0.80
	重要度	1.13	1.22	1.24	1.21	1.21
24 地震災害対策	満足度	-0.13	-0.12	-0.08	0.02	0.02
	重要度	1.48	1.56	1.53	1.55	1.49
25 消防・救急体制	満足度	0.30	0.40	0.32	0.38	0.44
	重要度	1.53	1.60	1.58	1.57	1.55
26 犯罪からまちを守 る	満足度	-0.14	0.00	-0.01	0.10	0.15
	重要度	1.55	1.58	1.59	1.55	1.51
27 交通安全対策	満足度	-0.06	0.05	0.02	0.09	0.20
	重要度	1.39	1.44	1.44	1.38	1.37
28 安全で豊かな消費 生活	満足度	-0.04	-0.03	-0.10	0.08	0.11
	重要度	1.13	1.28	1.32	1.20	1.17

ウ 取り組み別満足度と重要度

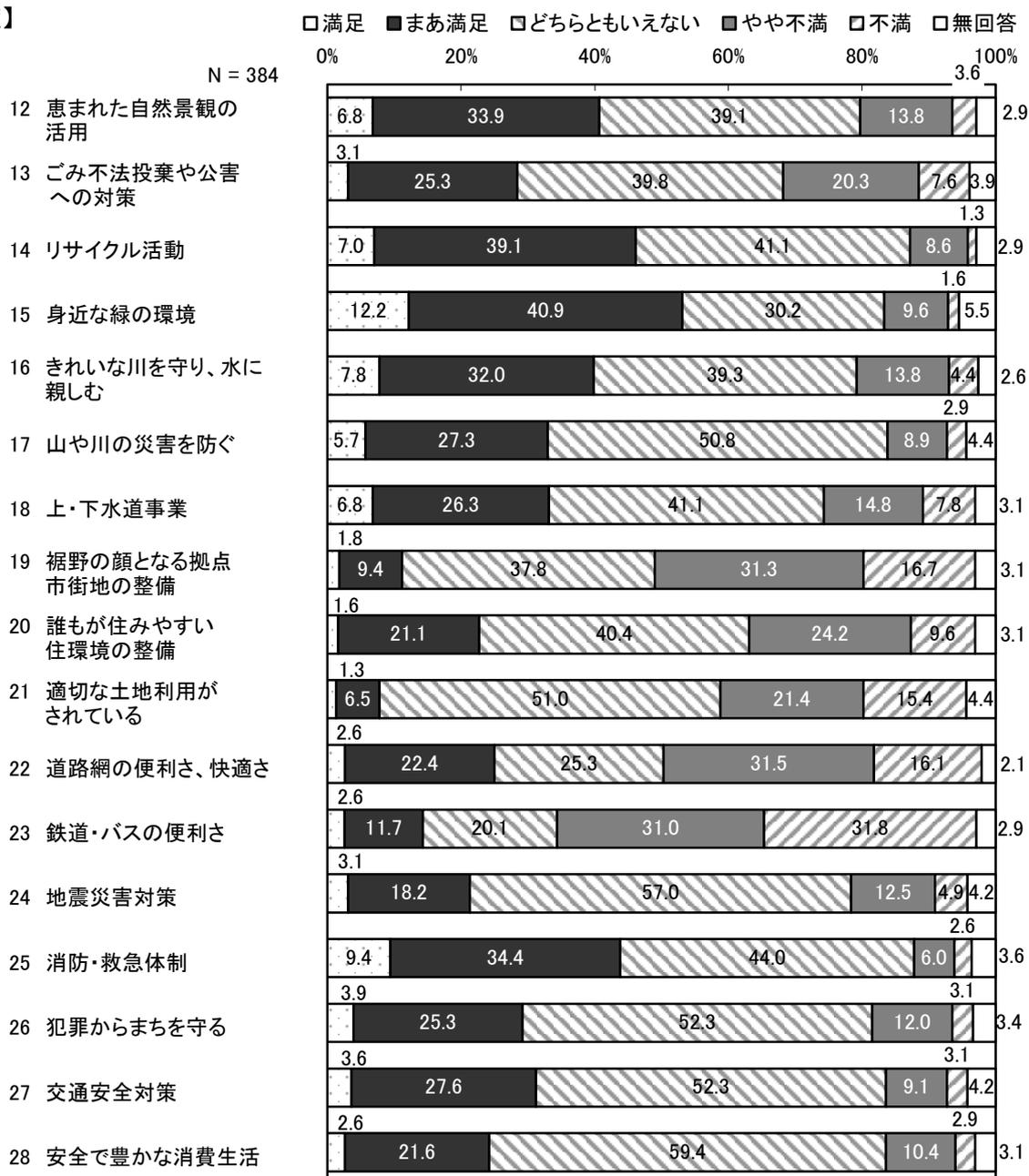
5割以上が『15 身近な緑の環境』に満足している

『24 地震対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』は、「とても重要」の割合が約6割

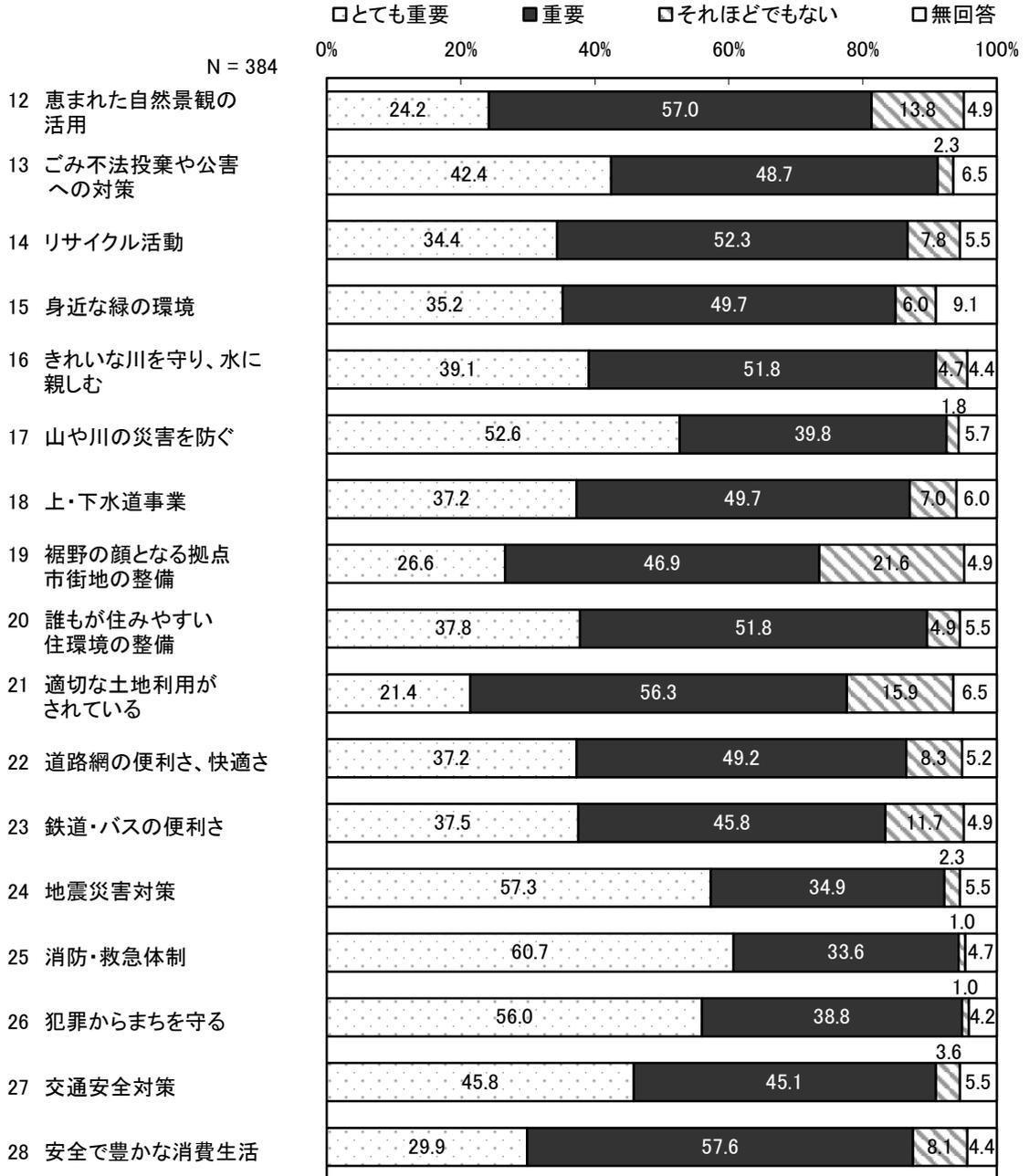
満足度については、『15 身近な緑の環境』で、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、5割以上となっています。

重要度については、『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『21 適切な土地利用がされている』を除いたすべての項目で、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に『24 地震対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』では、「とても重要」の割合が約6割と高くなっています。

【満足度】



【重要度】



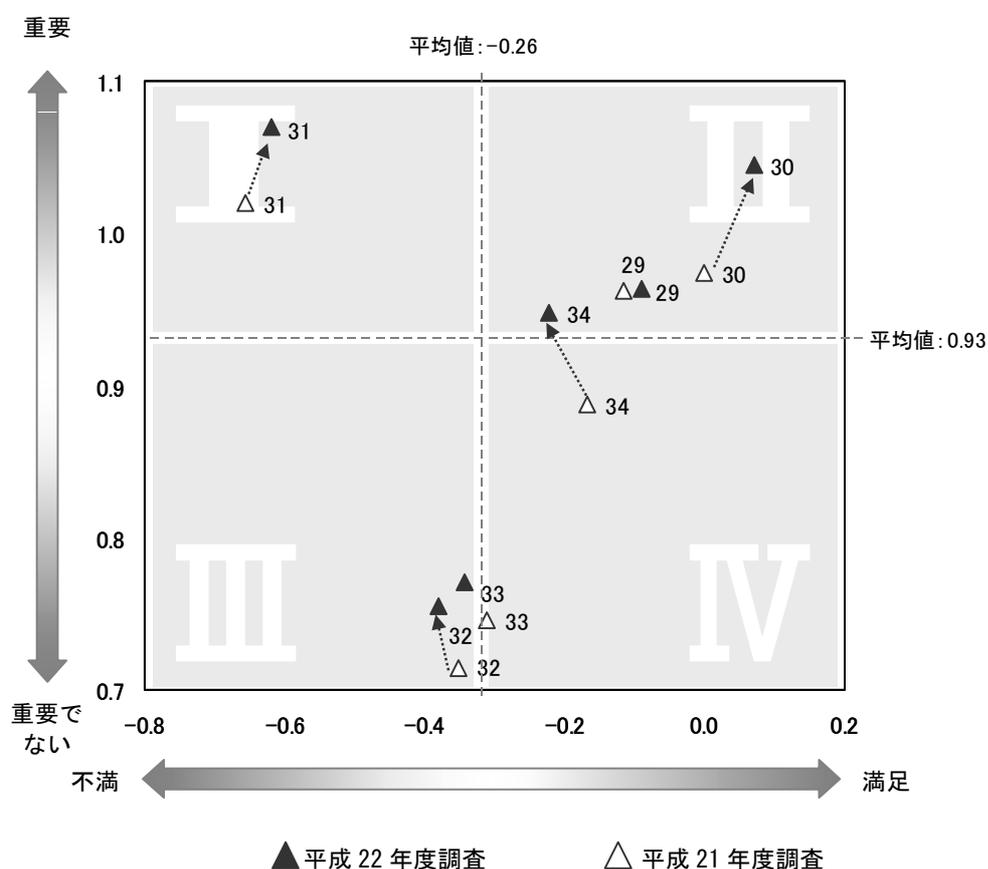
③新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

ア ポートフォリオによる分析

主に事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布

地域産業分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『29 農林業の活性化』『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『34 時代に対応した情報の発信』は全体に比べ、満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

また、『32 新たな観光地づくり』『33 裾野市の全国に向けたアピール』は全体に比べ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



タイプⅠ	タイプⅡ
31 にぎわいのある商業地づくり	29 農林業の活性化 30 先進企業を核とした地場産業の活性化 34 時代に対応した情報の発信
タイプⅢ	タイプⅣ
32 新たな観光地づくり 33 裾野市の全国に向けたアピール	

※平均値は平成 22 年度調査の数値です。

イ 満足度と重要度の経年変化

『31 にぎわいのある商業地づくり』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『31 にぎわいのある商業地づくり』と なっています。

満足度と重要度の推移をみると、『29 農林業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』『33 裾野市の全国に向けたアピール』については、満足度が1点未満ですが、状況が改善されつつあることがうかがえます。

また、『33 裾野市の全国に向けたアピール』については、重要度が低くなっている傾向がみられます。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
29 農林業の活性化	満足度	-0.15	-0.15	-0.19	-0.12	-0.09
	重要度	0.84	0.95	0.97	0.96	0.96
30 先進企業を核とした 地場産業の活性化	満足度	0.05	0.09	0.06	0.00	0.07
	重要度	0.92	1.02	1.04	0.97	1.04
31 にぎわいのある商 業地づくり	満足度	-0.67	-0.66	-0.70	-0.66	-0.62
	重要度	0.95	1.03	1.07	1.02	1.07
32 新たな観光地づく り	満足度	-0.37	-0.37	-0.38	-0.35	-0.38
	重要度	0.64	0.79	0.79	0.71	0.76
33 裾野市の全国に向 けたアピール	満足度	-0.45	-0.40	-0.43	-0.31	-0.34
	重要度	0.69	0.81	0.79	0.75	0.77
34 時代に対応した情 報の発信	満足度	-0.28	-0.23	-0.27	-0.17	-0.22
	重要度	0.84	0.94	0.91	0.89	0.95

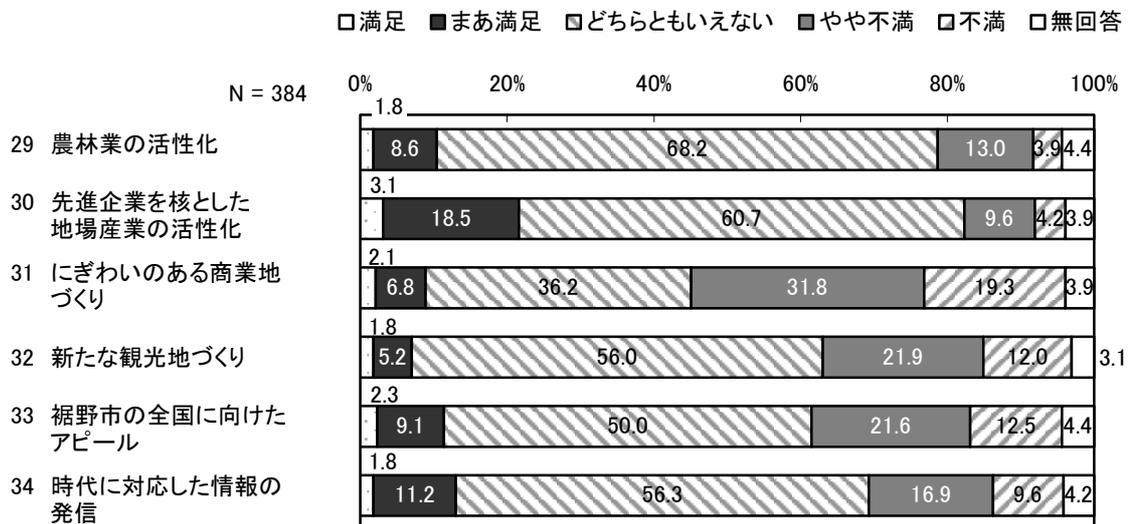
ウ 取り組み別満足度と重要度

約 2 割が『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』に満足している
『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』について、「とても重要」の割合が 2 割強

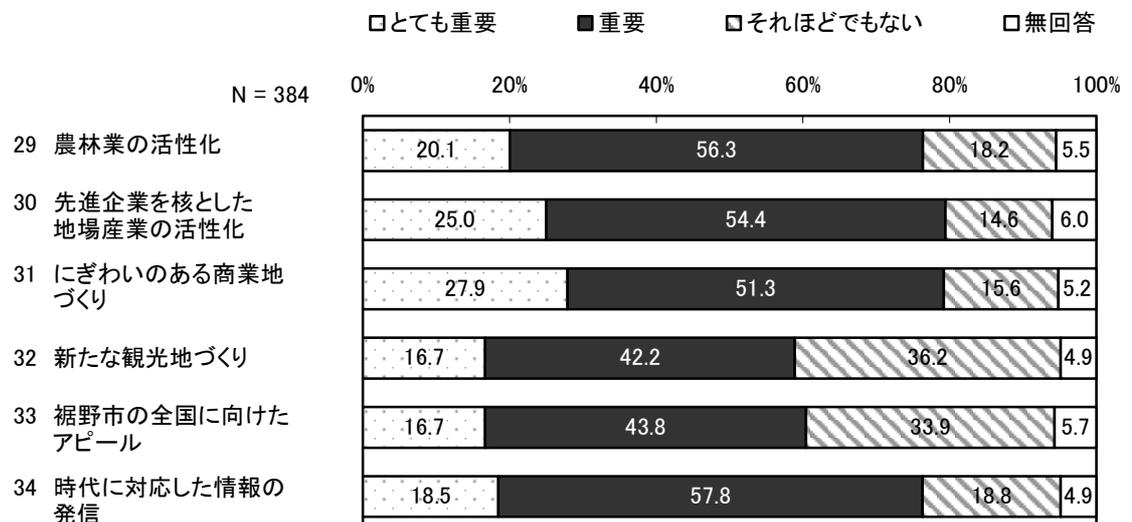
満足度については、『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、約 2 割となっています。

重要度については、『29 農林業の活性化』『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』『34 時代に対応した情報の発信』に対し、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、7 割以上となっています。

【満足度】



【重要度】

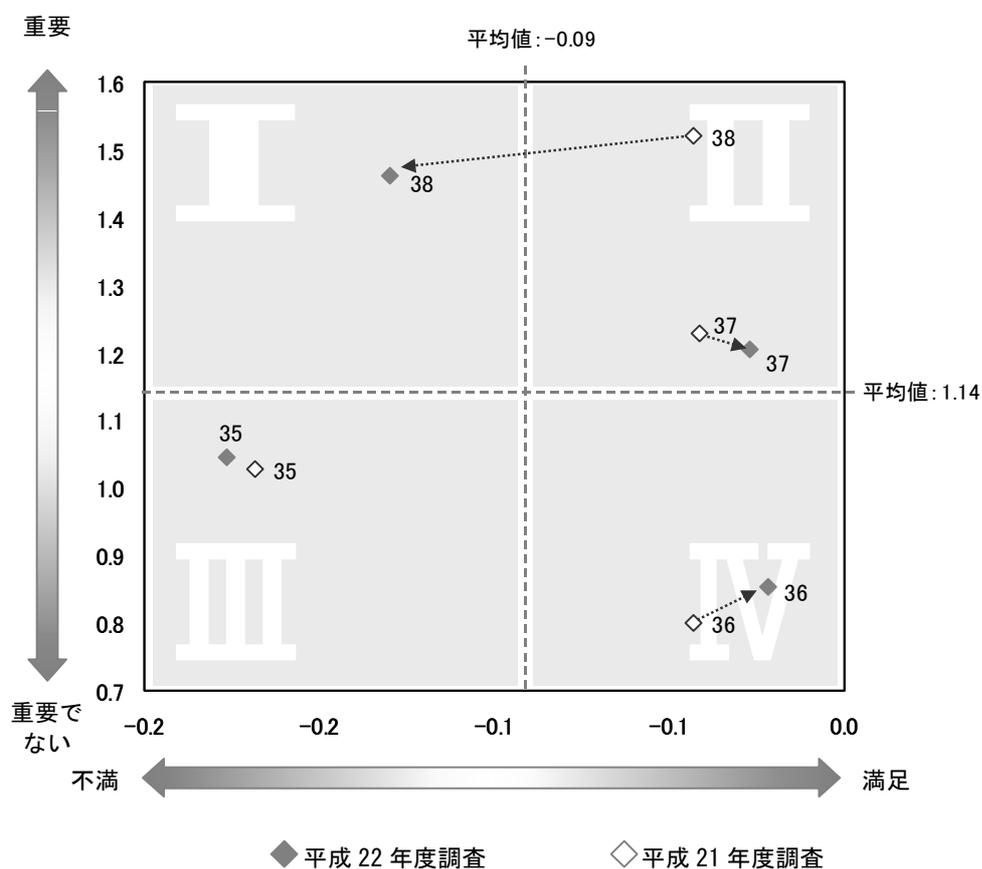


④頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

ア ポートフォリオによる分析

タイプⅠ、タイプⅡ、タイプⅢ、タイプⅣ それぞれに取り組みが分布

市民主体・行財政分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『38 健全な財政運営』は今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、『37 市民のための行政サービス』は全体に比べ、満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡ、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』は全体に比べ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢ、『36 男女共同参画社会』はこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないか、検討が必要なタイプⅣにそれぞれ分布しています。



タイプⅠ	タイプⅡ
38 健全な財政運営	37 市民のための行政サービス
タイプⅢ	タイプⅣ
35 市民と行政の協働によるまちづくり	36 男女共同参画社会

※平均値は平成 22 年度調査の数値です。

イ 満足度と重要度の経年変化

『38 健全な財政運営』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『38 健全な財政運営』となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』『36 男女共同参画社会』『37 市民のための行政サービス』については、満足度が高くなっている傾向がみられますが、『38 健全な財政運営』については、満足度が低くなっている傾向がみられません。

また、『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』については、他の項目に比べ重要度が高く、約 1.2 ポイント以上で推移しています。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
35 市民と行政の協働 によるまちづくり	満足度	-0.34	-0.25	-0.30	-0.17	-0.18
	重要度	1.03	1.07	1.07	1.03	1.04
36 男女共同参画社会	満足度	-0.13	-0.10	-0.09	-0.04	-0.02
	重要度	0.76	0.84	0.81	0.80	0.85
37 市民のための行政 サービス	満足度	-0.31	-0.21	-0.21	-0.04	-0.03
	重要度	1.19	1.28	1.28	1.23	1.21
38 健全な財政運営	満足度	-0.24	-0.07	0.00	-0.04	-0.13
	重要度	1.41	1.51	1.53	1.52	1.46

ウ 取り組み別満足度と重要度

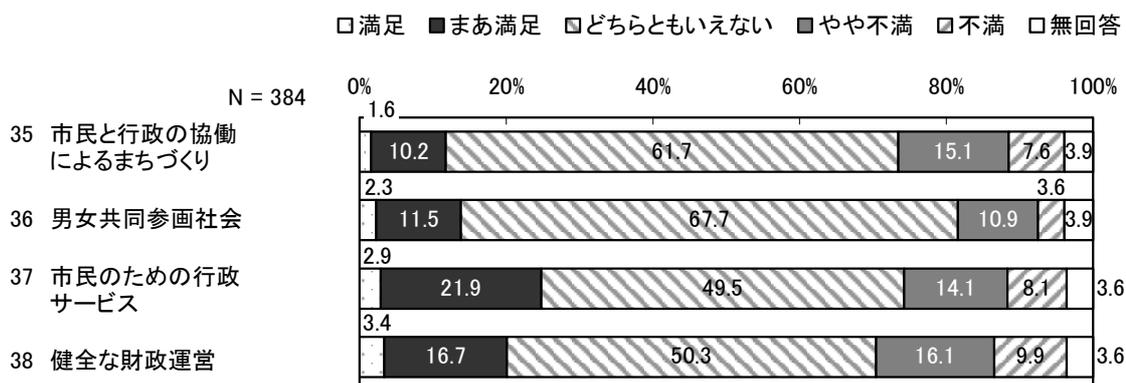
約2割が『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』に満足している

『38 健全な財政運営』について、「とても重要」の割合が約5割

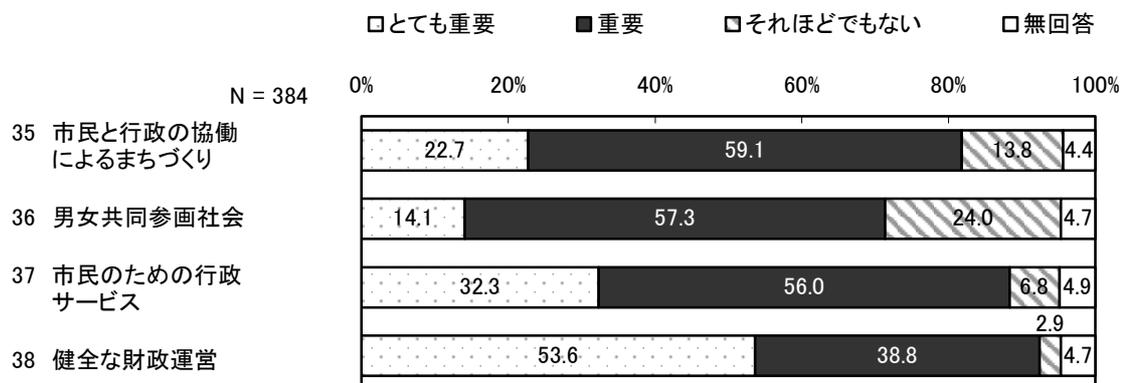
満足度については、『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、約2割となっています。

重要度については、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』に対し、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に『38 健全な財政運営』では、「とても重要」の割合が約5割と高くなっています。

【満足度】



【重要度】



問4 市の政策全体について、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

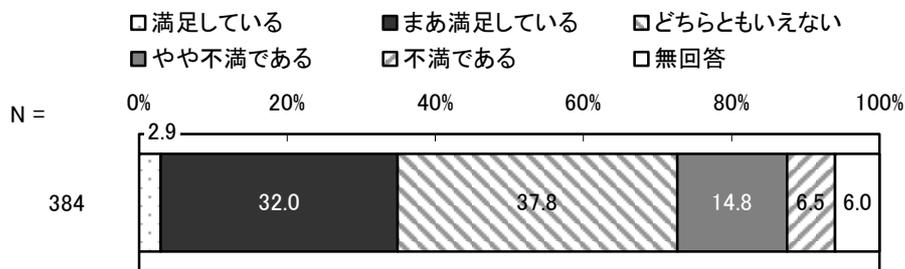
市の政策に満足している人が約3割

40～44歳で市の政策に満足している人が約5割、20～24歳、45～49歳で

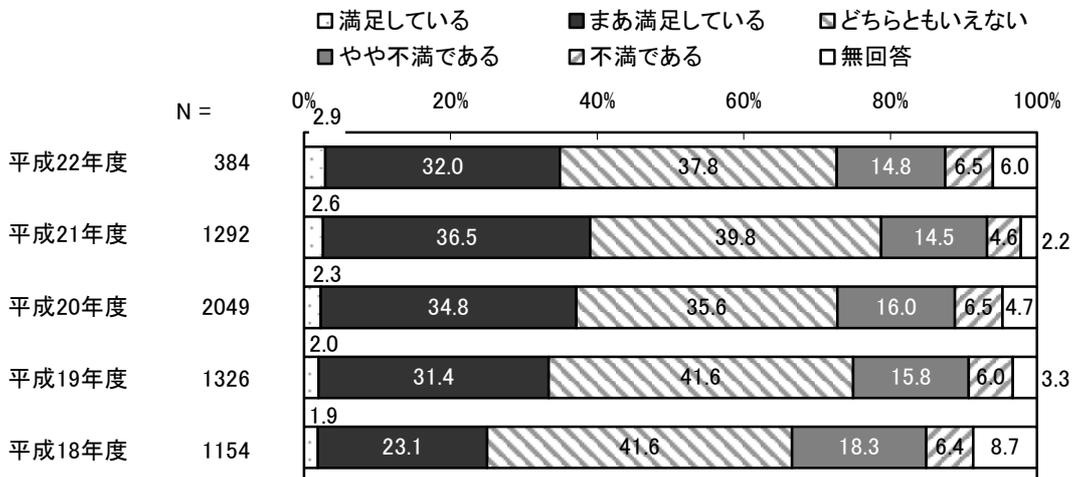
市の政策に満足していない人が約3割

富岡、須山、東で市の政策に満足している人が約4割

市の政策全体の満足度については、「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が34.9%、「やや不満である」と「不満である」をあわせた市の政策に満足していない人の割合が21.3%となっています。また、平成18年度から平成21年度まで満足度が高くなってきていましたが、その後、4.2ポイント減少しています。

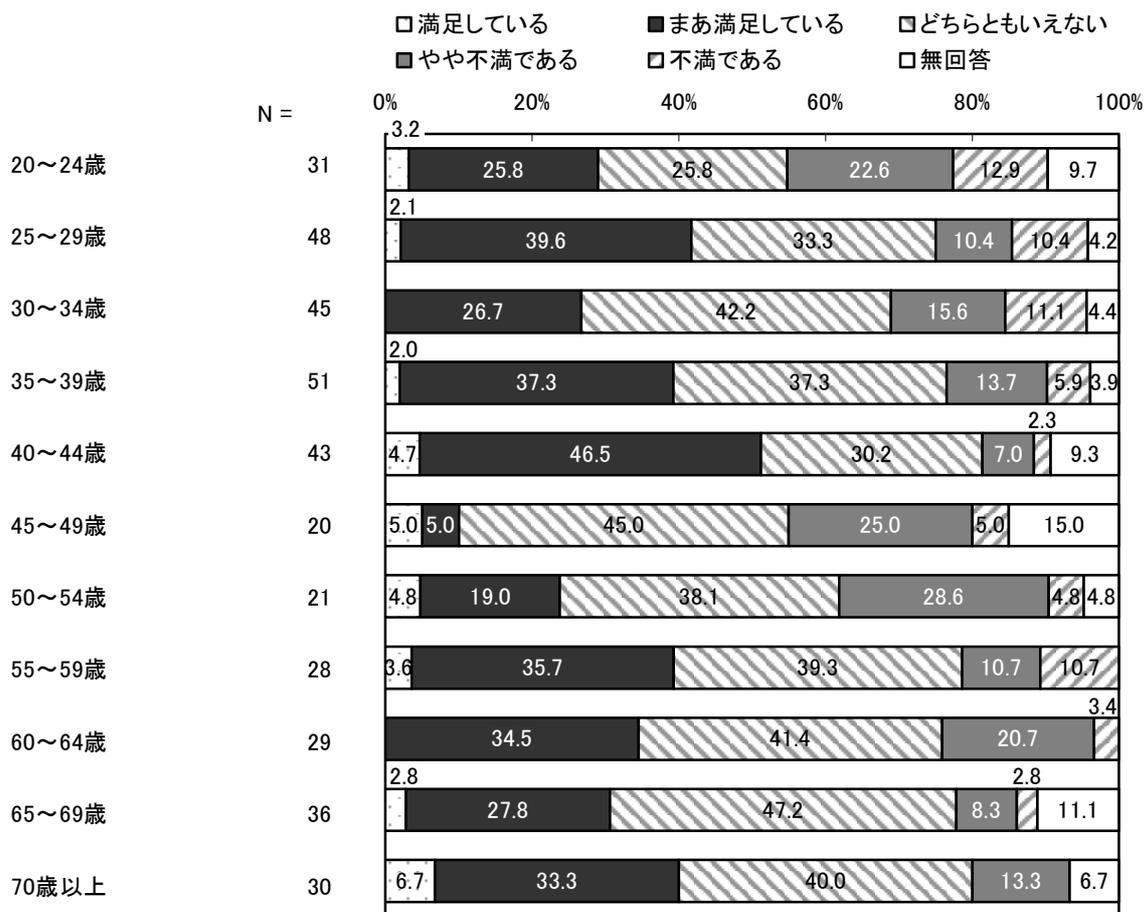


【経年比較】



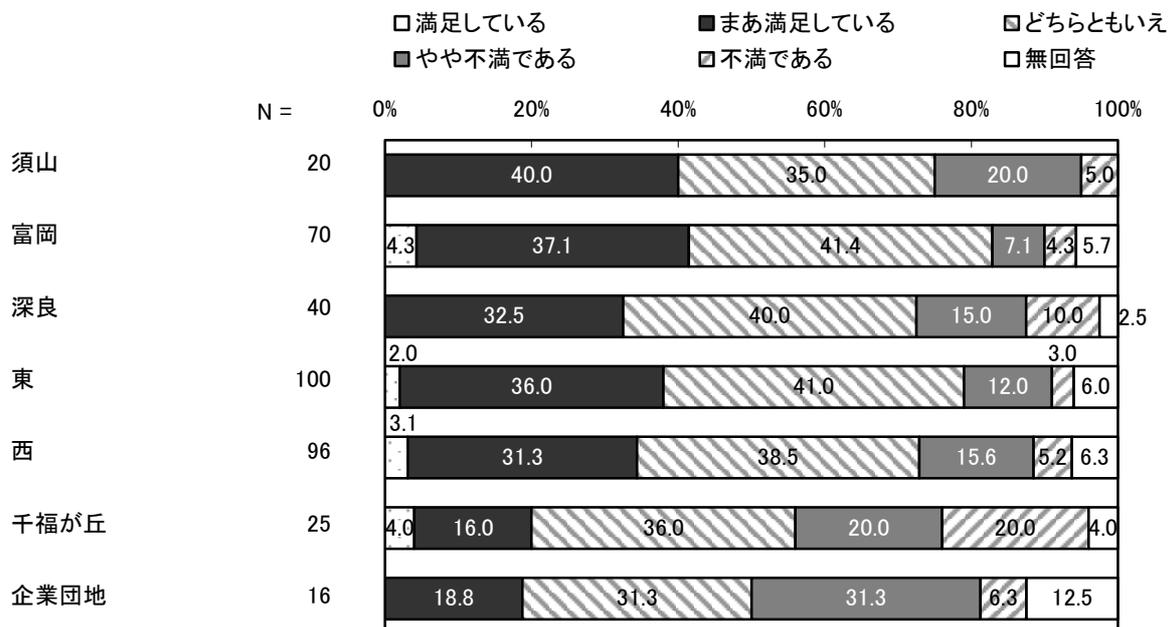
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が高く、約5割となっています。一方、20～24歳、45～54歳で「やや不満である」と「不満である」をあわせた市の政策に満足していない人の割合が高く、3割を超えています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘、企業団地で「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が低くなっています。

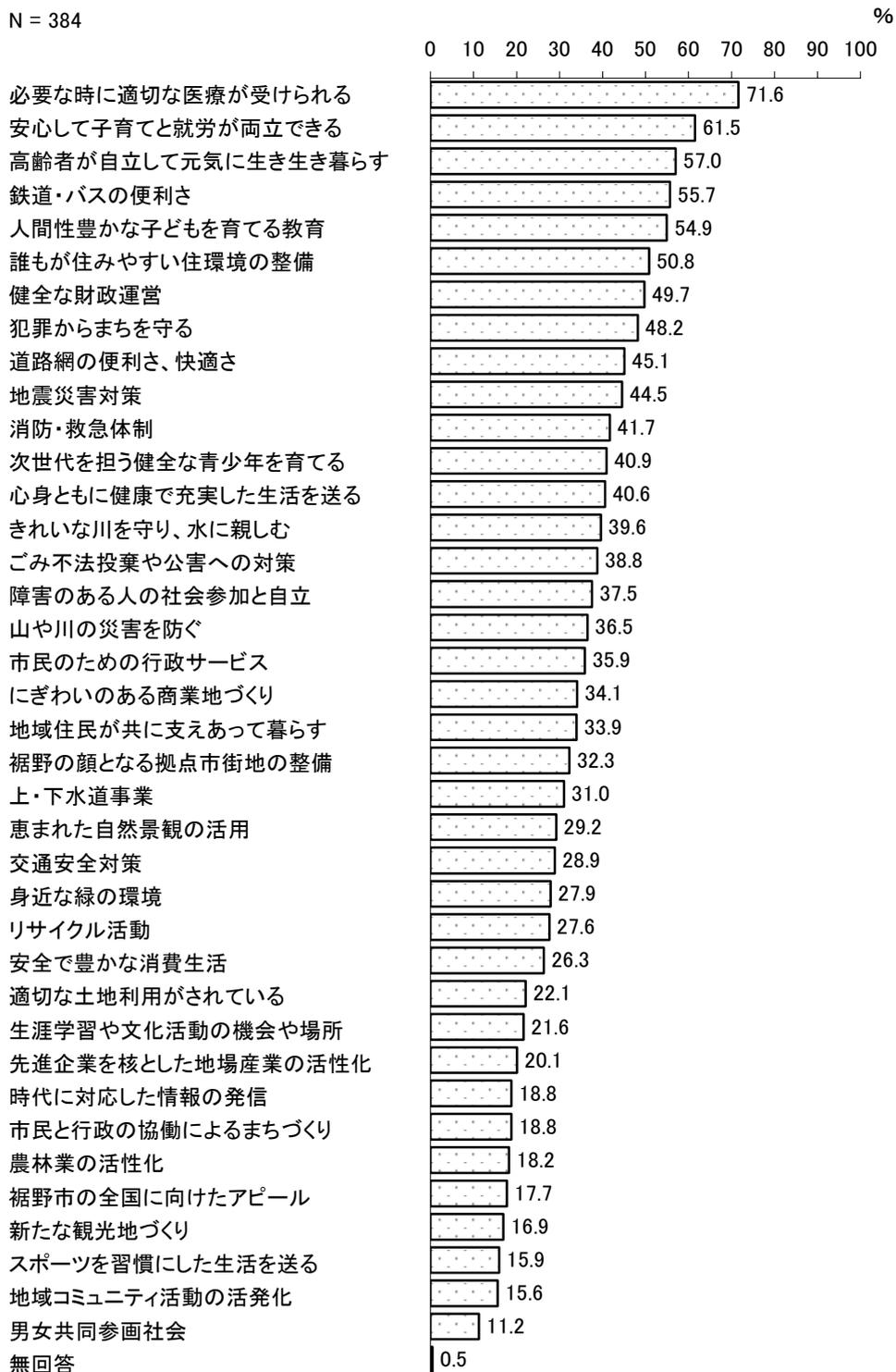


問5 市の取り組みのうち、今後さらに充実すべきものは何だと思われますか。次の中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

今後、充実すべき取り組みは、「必要な時に適切な医療が受けられる」「安心して子育てと就労が両立できる」とする人が6割以上

「必要な時に適切な医療が受けられる」の割合が71.6%と最も高く、次いで「安心して子育てと就労が両立できる」の割合が61.5%、「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」の割合が57.0%となっています。

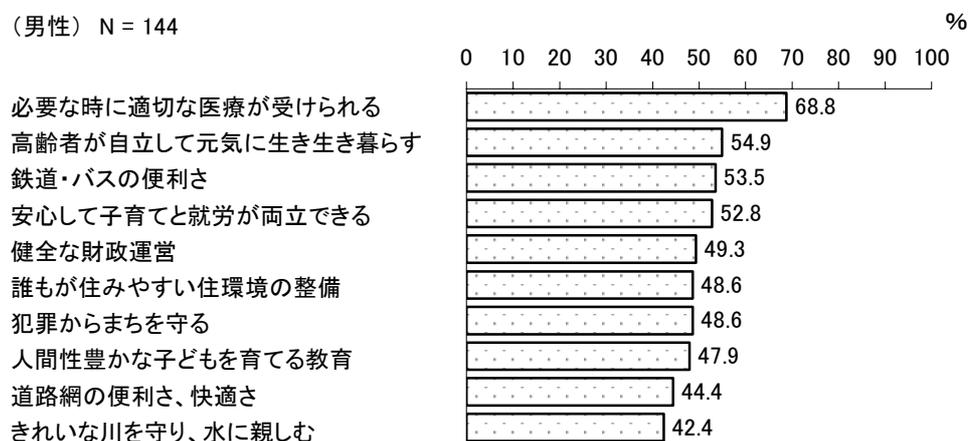
N = 384



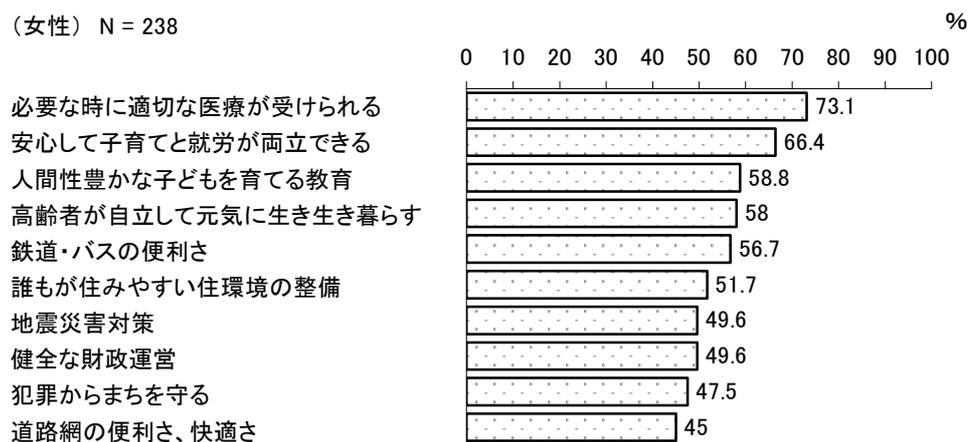
【性別】（上位 10 位）

性別でみると、男女ともに第 1 位が「必要な時に適切な医療が受けられる」となっています。また、男性で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」「鉄道・バスの便利さ」が、女性で「安心して子育てと就労が両立できる」「人間性豊かな子どもを育てる教育」が上位に入っています。

（男性） N = 144



（女性） N = 238

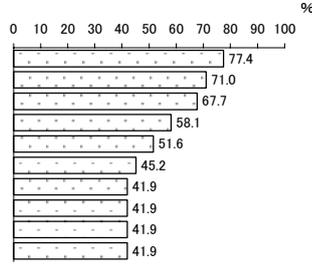


【年代別】（上位 10 位）

年代別でみると、ほとんどの年代では第 1 位が「必要な時に適切な医療が受けられる」となっていますが、30～34 歳で「安心して子育てと就労が両立できる」が、40～44 歳で「鉄道・バスの便利さ」が、60～64 歳、70 歳以上で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」が 1 位となっています。

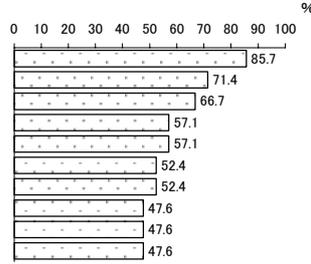
(20～24歳)N=31

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 鉄道・バスの便利さ
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 道路網の便利さ、快適さ
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 心身ともに健康で充実した生活を送る
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- きれいな川を守り、水に親しむ
- 地震災害対策



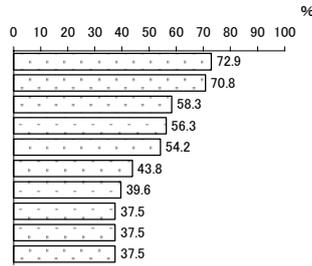
(50～54歳)N=21

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 鉄道・バスの便利さ
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 健全な財政運営
- ごみ不法投棄や公害への対策
- きれいな川を守り、水に親しむ
- 道路網の便利さ、快適さ



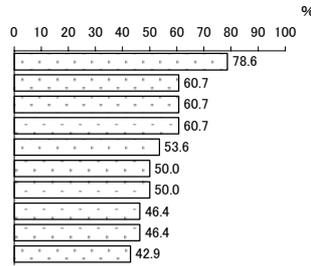
(25～29歳)N=48

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 鉄道・バスの便利さ
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 道路網の便利さ、快適さ
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 心身ともに健康で充実した生活を送る
- 次世代を担う健全な青少年を育てる
- ごみ不法投棄や公害への対策



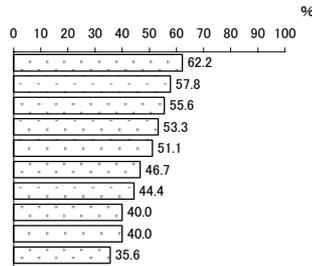
(55～59歳)N=28

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 健全な財政運営
- 次世代を担う健全な青少年を育てる
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 地震災害対策
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 犯罪からまちを守る
- 心身ともに健康で充実した生活を送る



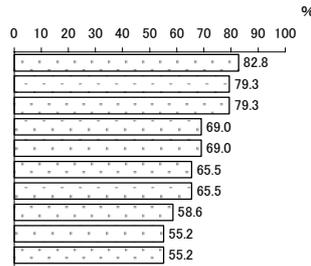
(30～34歳)N=45

- 安心して子育てと就労が両立できる
- 鉄道・バスの便利さ
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 道路網の便利さ、快適さ
- 犯罪からまちを守る
- 消防・救急体制
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 健全な財政運営
- きれいな川を守り、水に親しむ



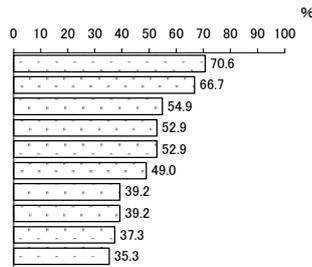
(60～64歳)N=29

- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 次世代を担う健全な青少年を育てる
- 健全な財政運営
- 恵まれた自然景観の活用
- 心身ともに健康で充実した生活を送る
- ごみ不法投棄や公害への対策



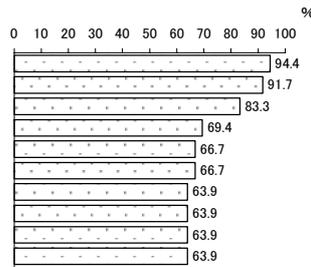
(35～39歳)N=51

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 地震災害対策
- 犯罪からまちを守る
- 鉄道・バスの便利さ
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 健全な財政運営
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- ごみ不法投棄や公害への対策



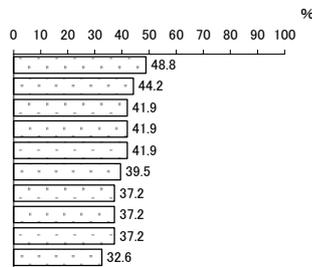
(65～69歳)N=36

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 心身ともに健康で充実した生活を送る
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 健全な財政運営
- 地域住民が共に支えあって暮らす
- 次世代を担う健全な青少年を育てる
- きれいな川を守り、水に親しむ
- 山や川の災害を防ぐ



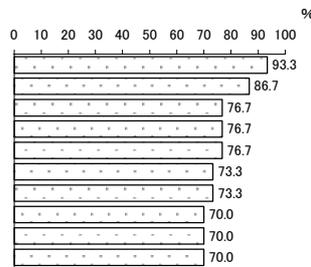
(40～44歳)N=43

- 鉄道・バスの便利さ
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 健全な財政運営
- 誰もが住みやすい住環境の整備
- 道路網の便利さ、快適さ
- 犯罪からまちを守る
- にぎわいのある商業地づくり
- 人間性豊かな子どもを育てる教育



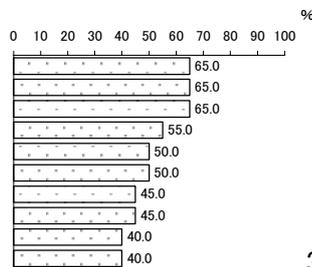
(70歳以上)N=30

- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 必要な時に適切な医療が受けられる
- ごみ不法投棄や公害への対策
- 消防・救急体制
- 健全な財政運営
- 地域住民が共に支えあって暮らす
- 山や川の災害を防ぐ
- 心身ともに健康で充実した生活を送る
- 次世代を担う健全な青少年を育てる
- 誰もが住みやすい住環境の整備



(45～49歳)N=20

- 必要な時に適切な医療が受けられる
- 鉄道・バスの便利さ
- 犯罪からまちを守る
- 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
- 安心して子育てと就労が両立できる
- 健全な財政運営
- 人間性豊かな子どもを育てる教育
- 道路網の便利さ、快適さ
- 障害のある人の社会参加と自立
- 裾野の顔となる拠点市街地の整備



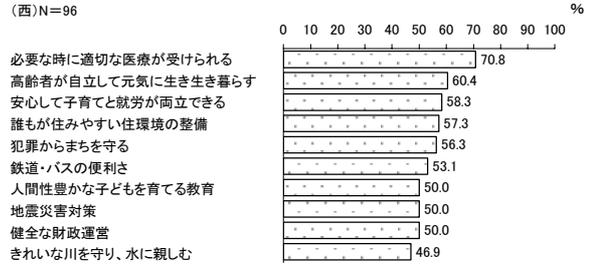
【居住地区別】（上位 10 位）

居住地区別でみると、ほとんどの地区では第 1 位が「必要な時に適切な医療が受けられる」となっていますが、企業団地で、「安心して子育てと就労が両立できる」が 1 位となっています。また、須山、西で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」、富岡、東、千福が丘で「安心して子育てと就労が両立できる」、深良で「人間性豊かな子どもを育てる教育」が 2 位となっています。

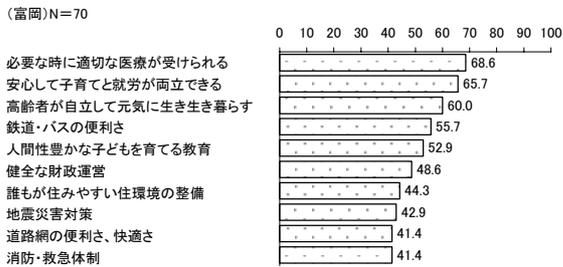
(須山)N=20



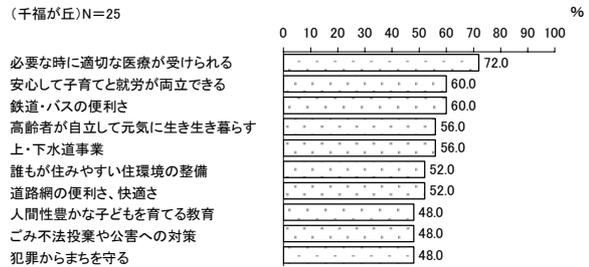
(西)N=96



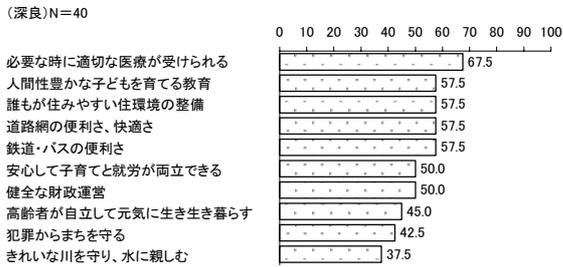
(富岡)N=70



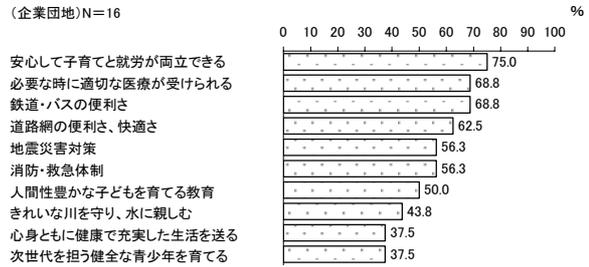
(千福が丘)N=25



(深良)N=40



(企業団地)N=16



(東)N=100

